

祝 町制施行60周年

平成27年2月1日、町制施行60周年、人生でいえば還暦の年を迎えることになりました。そこで過去をさかのぼって町が歩んできた60年を振り返っていききたいと思います。

開成町60年のあゆみ

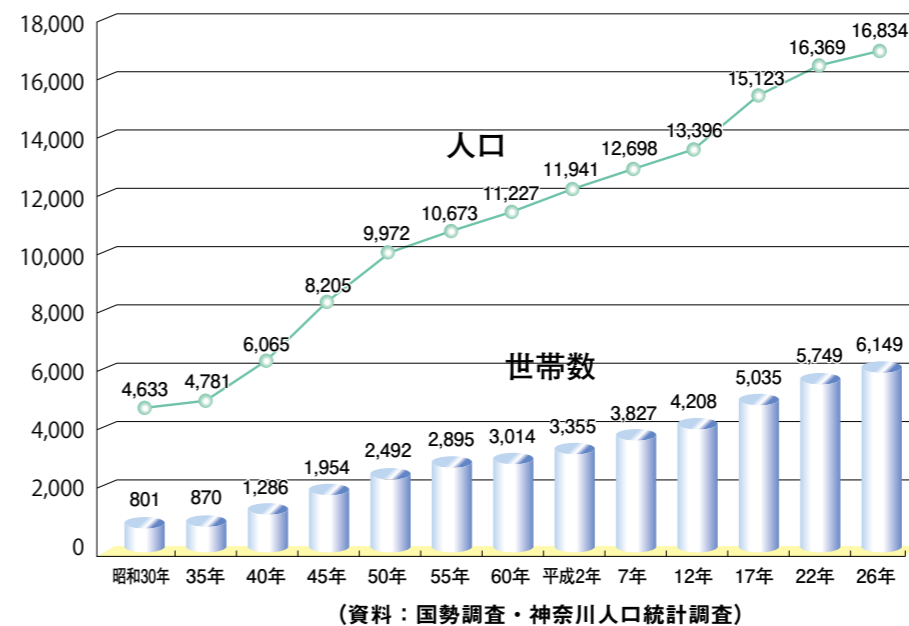
昭和30年2月1日に酒田村と吉田島村が合併し、誕生した開成町。合併当時の人口は4千633人で、世帯数は801世帯でした。

昭和40年代から50年代にかけて、学施設整備や新十字橋の開通など都市基盤の整備が進められました。

昭和60年代には、小田急線開成駅の開業や足柄大橋の開通などにより、交通利便性の向上が図られるとともに、現在では町を代表するイベントとなっている「あじさい祭」や「阿波おどり」が始まりました。

平成に入り、関東で最初のパークゴルフ場となる開成水辺スポーツ公園やあしがり郷瀬戸屋敷が開園しました。

近年では、平成22年に開成南小学校が開校、平成26年に足柄紫水大橋が開通しました。また、南部地区土地区画整理事業の区域内の住宅建設が始まるなど、60周年を契機に町の様相が大きく変貌しようとしています。



平成6年開成水辺スポーツ公園利用開始



昭和60年小田急線開成駅開業

年	月	できごと
昭和60	3	小田急線開成駅開業
昭和61	4	社会福祉法人開成町社会福祉協議会設立
	10	開成町民センター・保健センター完成
昭和63	3	足柄大橋開通
	4	自治会制度発足
	6	第1回あじさい祭開催
	9	第1回かいせい秋まつり（阿波おどり）開催
平成6	4	開成水辺スポーツ公園利用開始
平成13	3	開成駅前第二公園にロマンスカー3100形を設置
平成14	10	県道山北開成小田原線が開通
平成17	4	人口一万五千人に到達
	5	あしがり郷瀬戸屋敷開園
平成19	9	台風9号によって十字橋が落橋
平成22	4	開成南小学校開校
平成26	3	足柄紫水大橋開通
平成27	2	町制施行60周年



平成26年足柄紫水大橋開通



昭和33年頃の農村風景

年	月	できごと
昭和30	2	酒田村と吉田島村が合併して開成町が誕生
昭和37	4	新県道関本・松田線開通
昭和39	3	広報かいせい第1号発行
昭和45	4	町立開成幼稚園開設
	5	開成町民センター（現役場庁舎）完成
	12	新十字橋開通
昭和48	7	町の木に「しいがし」を指定
	10	開成小学校校舎完成
昭和50	5	開成小学校体育館完成、開校百年記念式典挙行
	5	人口一万人となる
昭和51	3	開成幼稚園、牛島地区に完成
昭和52	6	町の花に「あじさい」を指定
	10	文命中学校体育館完成
昭和53	8	文命中学校校舎竣工式



昭和45年開成幼稚園開設（現在の開成小学校北側）

「住みたい」「住み続けたい」「訪れたい」と思っていただけ町へ

町では、長期的な展望に立ち、豊かな自然環境を保全しながら、良好な住宅地の形成、交通利便性を高めるための道路網の整備などを進めてきました。

このように長年にわたって、自然と調和した利便性の高いまちの形成を進めてきたことにより、全国的に人口減少が進む中、開成町は現在も人口の増加傾向が続いています。



町の花あじさい

元気な子どもたち



しかしながら、全国的な傾向と同様に、開成町においても高齢化が進んでいます。将来にわたって活力に満ち溢れた「元気」な開成町であり続けるためには、多くの方々が開成町に「住みたい」「住み続けたい」「訪れたい」と思っていた必要があります。

町では、町制施行60周年を契機に、「選ばれたまち」を目指し、開成町そのものの価値を高めるためのブランド化に取り組んでいきます。（ブランド化は次ページで紹介）